

令和6年度庄原市複式指導研修会

令和6年10月11日(金) 庄原市立総領小学校

複式授業における指導の在り方を研修することを通して、児童生徒が主体的に学び合う学習を目指した授業改善を図ることを目的に、研修会を行いました。

【研究授業】第3・4学年 国語科「サーカスのライオン」「一つの花」
第5・6学年 算数科「整数の性質を調べよう」「拡大図と縮図」
授業者：庄原市立総領小学校 教諭 中井 阿弥、教諭 永田 未樹子

【協議・講話】「主体的に学び合う学習を目指した授業づくり

～複式授業を通して～

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 片山 博子

- 庄原市立総領小学校の国語科、算数科の複式授業を参観し、「主体的に学び合う学習となっていたか」について研究協議を行った。
- 庄原市における複式学級を有する小学校は、本年度は7校となっている。複式学級の学習指導の効果を高めるには、両学年の学習段階をずらして「直接指導」と「間接指導」を適切に組み合わせることが大切である。



【グループ協議】

- 単元のゴール(修学旅行等、必然性のある課題)を児童と共有し、そのゴールに向けた授業展開となっていた。学習リーダーを中心とした児童主体の授業展開となっていた。個のつまづきに対する手立てを細かに想定され、指導者からタイムリーに肯定的評価を行うことで、児童のやる気の継続につながっていた。
- より深い学びを実現するために、まとめを共有する時間を設定したり、解法の共通点を見出す場面等、深めたいところで指導者が直接指導できるようにしたりするとよいと感じた。

【参加者の感想等】

- 初めて複式指導の様子を見ることができた。「子供が主体的に学ぶ」という視点で参観をすると、一人一人の役割作り、細かな評価、見通しなど所属校でも活用できそうな工夫がたくさんあったので来週から是非取り入れたい。
- 話型、文型など多様な方法を視覚的支援として用意しておくこと、リーダーノートを用いた授業展開等が参考になった。高学年になるにつれ、少しずつノートの単語を減らし主体的に行動できるようにしたい。
- 支援グッズの充実(掲示物、学級図書などの教室環境)や学習のパターン化(1時間の流れ、漢字学習のルーティン)等参考になった。自分の学級で実用化し、他学級の授業交流の場で見てもらいたい。若手の先生には、見えそうな手法を直接声かけしていきたい。
- 6年生が4人でまとめて発表していたように、自分たちが本当に理解できているか発表させること、見通しを大切にすること、自分事として話を聞く、行動すること等、参考になった。同じ複式をされている先生との話はとても参考になり、悩みの共有もでき、とても有意義な研修会だった。